

立教大学文学部人文研究センター

ラウラ・モレッティ（ケンブリッジ大学教授）講演会

読みながら遊ぶこと

立教大学文学部の正規科目として長年開講されてきたケンブリッジ・サマープログラム。ケンブリッジ大学エマニュエル・カレッジ側の責任者で日本近世文学を専門とするラウラ・モレッティ教授をお迎えし、近世日本に見られた「遊び文化」に関する講演会を開催します。本講演に対し、文学部からは日本史および哲学の専門家が応答することで、日本のなかの遊び/世界の日本文化をめぐっての議論を行います。

日時

趣旨説明：小澤 実（史学科世界史学専修）

2024年4月12日（金）

18:00～20:00

講演：ラウラ・モレッティ（ケンブリッジ大学）

場所

読みながら遊ぶこと：遊び文化の一環としての日本近世文学

池袋キャンパス12号館

第1・第2会議室

応答1：佐藤 雄基（史学科日本史学専修）

申込不要・参加自由

子どもの学びと御成敗式目：江戸文化の中の鎌倉時代

使用言語

応答2：渡名喜 庸哲（文芸・思想専修）

日本語

「翼」は wing ではない！マンガをめぐる翻訳事情

司会：加藤 喜之（キリスト教学科）

主催：立教大学文学部人文研究センター

共催：立教大学国際化推進機構、立教大学日本学研究所

立教大学文学部ケンブリッジ・プログラム運営委員会

お問合せ：立教大学文学部人文研究センター（rch@rikkyo.ac.jp）